

病理標本スキャンニングの標準化に関する多施設共同研究

1. 研究の対象

2021年5月～2024年3月までに研究課題番号 2021-057「病理標本作製の標準化/自動化に関する多施設共同研究」に登録された18歳以上の方

2. 研究目的・方法

「目的」

病理標本のスキャンニングに関する様々な要素が病理診断AIにどのような影響を与えるかを検討する。

「方法」

研究課題番号 2021-057「病理標本作製の標準化/自動化に関する多施設共同研究」で作製された標本を利用し、株式会社エビデントのスキャナを用いてRAWデータによる出力を行います。

「資金」

本研究は以下の研究費を用いて実施され、研究者の利益相反は各施設で管理されます。

※本研究は株式会社エビデントとの共同研究です。

① 国立がん研究センター研究開発費

(研究費の課題名)

AIによる各種臓器の標本切り出しならびに病理標本作製支援技術作成のための体制整備

(研究費の代表者名とその所属)

代表：坂下信悟、先端医療開発センター臨床腫瘍病理分野

(研究費の管理番号、研究費交付年)

2021-A-7 2021年

② 株式会社エビデントからの共同研究費

「研究実施期間」

研究許可日 ～ 2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

用いる検体は研究課題番号 2021-057「病理標本作製の標準化/自動化に関する多施設共同研究」で作製された標本およびパラフィンブロックです。患者背景情報は用いる事はありません。

4. 外部への試料・情報の提供

標本はがん研究センター内でスキャンニングされ、株式会社エビデントに送付されます。それ以外の情報は一切外部には持ち出しません。

5. 研究組織

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 ユニット長 坂下信悟
株式会社 Evident Lifescience Business Strategy Global, Clinical vertical market leader 小蒲健

夫

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立がん研究センター 先端医療開発センター

〒277- 8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL:03-7130-0222

研究代表者

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 坂下信悟

研究責任者

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 坂下信悟